

平成 30 年度 十和田市立中央病院 臨床研修プログラム概要

① 研修プログラムの特色

二次医療圏の中核病院として豊富な症例を経験し、初期医療、専門的医療、救急医療、緩和ケアを含めた包括的がん医療について重点的に研修を行う。また、慢性疾患や高齢患者およびがん終末期患者の在宅医療、リハビリテーション、社会復帰などについても、生活を重視した総合的な管理計画を立案できるよう研修する。

②臨床研修の目標の概要

新医師臨床研修制度の基本理念に基づき、医師としての人格の涵養に努め、幅広い基本的臨床能力を修得し、頻度の高い疾患や病態およびプライマリ・ケアに対応できる医師を育成する。また、チーム医療の意義を理解し、そのリーダーとしての役割を認識できる医師を育成する。

* 研修の内容及び目標は、臨床研修プログラム(別紙)における到達度の各項目による。

③プログラム責任者の氏名

医療局 外科 診療部長 杉 田 純 一

④臨床研修を行なう分野並びに当該分野ごとの研修期間及び臨床研修協力施設

	研修分野	期間	研 修 病 院	備 考
1 年目	内 科	6 カ月	十和田市立中央病院	消化器・呼吸器・循環器 内科をローテーション
	救 急 部 門	2 カ月	十和田市立中央病院	連続した2カ月。1カ月分 は救急患者、救急車搬入時 に優先的に呼出
	選 択 必 修 科	4 カ月	十和田市立中央病院 五戸総合病院(産婦人科) 青森県立中央病院(産婦人科) 国立病院機構弘前病院(産婦人科) 三沢市立三沢病院(産婦人科) 弘前大学医学部附属病院(麻酔科) しんぐクリニック産婦人科・皮ふ科(産婦人科)	外科、麻酔科、産婦人科、 小児科、メンタルヘルス科 から2科目以上選択
2 年目	地 域 医 療	1 カ月	十和田市立中央病院 小嶋外科胃腸科医院 十和田湖診療所 医療法人静仁会静仁会静内病院	小嶋外科胃腸科医院1日、 十和田湖診療所及び静内 病院 1~2 週間、残りの期 間は総合内科で在宅医療 等を研修
	地 域 保 健	1 カ月	十和田市立中央病院 上北地域県民局地域健康福祉部保健総 室(上十三保健所) 介護老人保健施設 みのり苑	保健所1週間、介護老人保 健施設1日、残りの期間は 総合内科、地域医療連携室 で地域医療を研修
	選 択 科	10 カ月	十和田市立中央病院 五戸総合病院(産婦人科) 青森県立中央病院(産婦人科) 国立病院機構弘前病院(産婦人科) 三沢市立三沢病院(産婦人科) 東北大学病院(病理) 弘前大学医学部附属病院(麻酔科)	産婦人科の研修期間は 実施機関による

【備考】 選択科は、内科、外科、総合内科、泌尿器科、産婦人科、婦人科、整形外科、メンタルヘルス科、小児科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、病理から選択。なお、到達目標に未達成項目がある場合は、到達目標達成のために必要な診療科を割り当てることがある。

⑤研修医の指導体制

研修分野	医師	職名	指導医	備考	
内科	消化器	佐藤守彦	診療部長	○	診療科代表
		内 緑	診療部長	○	
		三上哲彦	科 長		
	呼吸器	工藤優	副院長		診療科代表
	循環器	出町順	診療部長	○	診療科代表
		平野道基	科 長	○	
糖尿病	百目木希美	科 長	○	診療科代表	
外科	丹野弘晃	院 長	○	研修実施責任者	
	杉田純一	診療部長	○	プログラム責任者 研修管理委員長	
	成島陽一	診療部長	○	診療科代表・救急室長	
	百目木泰	科 長	○		
	北村洋	科 長	○		
	土屋朗之	科 長	○		
	川崎修平	科 長	○		
麻酔科	深田祐作	診療部長	○	診療科代表	
小児科	工藤雅庸	科 長	○	診療科代表	
	小田誠	非常勤			
産婦人科	富浦一行	副院長	○	診療科代表	
メンタルヘルス科	谷地森康二	診療部長	○	診療科代表	
	竹内淳子	診療部長	○		
	徳満敬大	医 員			
総合内科	小山滋豊	診療部長	○	診療科代表	
	葛西孝健	科 長	○		
	下谷陽子	科 長			
	米永一理	医 員			
	水野隆史	医 員			
	宮川晃	非常勤			
緩和医療科	田邊淳	診療部長	○	診療科代表	
整形外科	板橋泰斗	診療部長	○	診療科代表	
	林慶充	科 長	○		
	竹内政道	科 長			
脳神経外科	赤坂健一	診療部長	○	診療科代表	
	竹田哲司	科 長	○		
耳鼻咽喉科	藤原文明	診療部長	○	診療科代表	
泌尿器科	寺井康詞郎	診療部長	○	診療科代表	
	成田直史	科 長			
	佐藤博美	科 長			
放射線科	目時隆博	診療部長		診療科代表	
健診センター	高井哲史	室 長		非常勤	
皮膚科	吉澤秀華	非常勤			

⑥協力病院、協力施設の名称及び研修実施責任者等の氏名

施設名・病院名		研修の内容	期間	研修実施責任者	
				指導医・指導者	
協力病院	国民健康保険 五戸総合病院	産婦人科	1ヵ月	安藤 敏典	院長
				井戸川 敏彦	特別参事
	青森県立中央病院	産婦人科	1ヵ月	竹森 弘光	副院長
				森川 晶子	部長
	国立病院機構 弘前病院	産婦人科	1ヵ月	石黒 陽	臨床研究部長
				丹藤 伴江	部長
	三沢市立三沢病院	産婦人科	1ヶ月	星 克樹	副院長
				丸山 英俊	医長
	東北大学病院	病理	1ヶ月	笹野 公伸	教授
				〃	〃
	弘前大学医学部 附属病院	麻酔科	2週間程 度	廣田 和美	教授
				〃	〃
協力施設	上北地域健康福祉 局保健総室 (上十三保健所)	地域保健	1週間	傳法谷 純一	保健総室長
				〃	〃
	小嶋外科胃腸科 医	地域医療	1日	小嶋 泰彦	院長
				〃	〃
	介護老人保健施設 みのり苑	地域保健	1日	山本 孝司	理事長
				〃	〃
	十和田湖診療所	地域医療	1週間 又は 2週間	佐々木 操	診療所長
				〃	〃
	しんクリニック 産婦人科・皮ふ科	産婦人科	1週間	小泉 俊光	院長
				〃	〃
	医療法人静仁会 静仁会静内病院	地域医療 (へき地離 島研修)	2週間 程度	井齋 偉矢	院長
				〃	〃

⑦研修医の募集定員並びに募集及び採用の方法

- ・プログラム名 十和田市立中央病院臨床研修プログラム
- ・プログラム番号 030801401
- ・研修期間 平成30年4月1日から平成32年3月31日までの2年間
- ・募集定員 6名（インターネット等による公募）
- ・マッチングへの参加 有
- ・募集期間 平成29年4月1日から平成29年9月末日まで（必着）
- ・応募必要書類 申込書※・履歴書※・卒業（見込み）証明書
成績証明書
※当院指定様式（ホームページからダウンロード可）
- ・面接・病院見学
 - 病院見学時に面談を行った6年次の方で、臨床研修申込書類を提出していただいた方については、この面談結果をもって面接試験結果と代えさせていただきます。
 - 病院見学を希望する日時、診療科等をお知らせください。調整のうえ日時をお知らせします。
 - 宿泊施設、見学時の昼食は無料で提供しています。5年次の6月以降であれば、当院の規定に沿って交通費が支給されます（上限4万円）。
- ・選考方法 面接・書類選考（履歴書等）
医師臨床研修マッチングによる

問い合わせ先

〒034-0093 青森県十和田市西十二番町14-8

十和田市立中央病院 医療支援室1 アキモト 秋元 ナオキ 直樹

電話 0176-23-5121 内線 2350

FAX 0176-23-2999

E-mail : naoki_akimoto@city.towada.lg.jp

ホームページ : <http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/>

⑧ 処遇

- ・ 報酬 1 年次 5 7 万円（税込/月額）諸費用天引き前
 2 年次 6 0 万円（税込/月額）諸費用天引き前
 宿日直手当、時間外勤務手当は別途支給
- ・ 身分 嘱託職員（非常勤）
- ・ 保険 社会保険
- ・ 年金 厚生年金
- ・ 雇用保険 あり
- ・ 災害補償 労働者災害補償
- ・ 医師賠償責任保険 病院加入有り 個人加入は任意
- ・ 公舎 単身用、世帯用有り（公舎料 4,000 円～12,000 円程度）
 公舎を使用しない場合、住宅手当支給（上限 27,000 円）
- ・ 勤務 月～金 8:30～17:00 休日は土、日、祝、年末年始
 ※場合により時間外勤務あり
- ・ 休暇 年次有給休暇 年 20 日（採用時 15 日）
 その他【夏季休暇、忌引き、出産休暇（産前、産後）、育児休業】
- ・ 講習会、研修会への参加 可（研修費 36 万円から旅費を支給）
- ・ 日当直 月 4 回程度（副直） 日当直手当支給
- ・ 健康管理 定期健診（年 1 回）、電離放射線（年 2 回）、各種ワクチン等あり
- ・ 病院内での個室 個人ブース設置（医局内オープンスペース）